

2015 年度 事業報告・会計報告



「情報は命を救う」「情報は生きる支え」
特定非営利活動法人 日本マルファン協会



㊦㊦㊦㊦ 2015年度 事業報告 ㊦㊦㊦㊦

● 2015年度統括 ●

法人設立9年目の2015年度は、ホームページリニューアルを行いました。旧ホームページでは、写真をアップできなくなったり、情報が整理されていない等の不具合が生じていました。サービス Grantによるプロジェクト助成をいただき、自分たちだけではできなかったわかりやすいホームページができました。今後は、患者家族や医療者にとっても役に立つホームページとなるよう、情報を集め、更新していきたいと思えます。

マルファン症候群が指定難病と小児慢性特定疾病に入ったとはいえ、患者自身が自分は医療費助成の対象になるのかどうか分からない。対象となるメリット・デメリットを知りたい。…というご意見をいただき、指定難病についての講演会や、アンケート、会報で特集記事を載せる等を行いました。

医療助成の診断基準には、まだ課題が残っていると思えます。今後も患者の声を集め、医療者からもご意見をいただいて、厚生労働省へ必要な改善をご相談していきたいと考えています。

患者レジストリ J-RARE.net の厚生労働科学研究費補助金事業研究班の一因として、今年度も参加しました。マルファン症候群はこの J-RARE システムを使って、就労に関するアンケートを行う予定ですが、今年度は内容を詰めることができず、翌年度に持越しとなりました。

また、今年の新しいこととしては、ゲノム編集に関する会議やフォーラムにご招待いただき、意見を述べさせていただいたことです。まだまだ実際にはマルファン症候群(特に受精卵の)ゲノム編集は、先のことです。しかし、いつかそういうことができるようになった時に、どこまで編集するのか、していいのかなどは、患者の立場でも考えておく必要のあるテーマです。今後も交流会等でみなさんのご意見をお聞かせください。

会員のみなさん、スタッフのみなさん、2015年度もご支援ご協力どうもありがとうございました。

● 2015年度の役員 ●

役員

代表理事	猪井 佳子	副代表理事	関 良介
理事	大柄 嘉宏	理事	小竹 直樹
理事	萩野 弥生		
監事	濱本 鉄也	監事	新野 秀幸

(理事 5 名、監事 2 名)

年間スケジュール

6月	13日	サービスグラント新HP打ち合わせ
	20日	日本エーラスダンロス協会(友の会)総会・医療講演会・交流会賛同団体参加
8月	2日	VHO-net関西学習会出席
	5日	会報誌Fun8号発行
	8日	サービスグラント新HPクリエイティブ提案
	16日	サービスグラント新HP打ち合わせ
	20日	マルファンジャーナル No.100発行
	22日	2015年度定期総会&新ホームページ会議&親睦会開催
9月	23日	マルファン症候群と指定難病についての講演会&昼食交流会開催
	3日	中日新聞社会事業団難病者激励金授与式出席
10月	23日	自立支援員研修会 講演2名
	31日	堺市難病患者家族意見交換会出席
11月	7日	難病・慢性疾患全国フォーラム 2015 参加
	18日	製薬協患者アドバイザリーボード Skype 出席
	21日	患者団体等が主体的に運用する疾患横断的な患者レジストリのデータの収集・分析による難病患者のQOL向上及び政策支援のためのQOL評価基準の策定および基礎的知見の収集(患者レジストリJ-RARE 研究班)運営会議 Skype 出席
	22日	第25回今後の難病対策関西勉強会出席
	24日	製薬協第29回患者団体セミナー参加
	28日	VHO-net関西学習会会議出席
12月	19日	Open Discussion for Orphan Drug Discovery (ODOD)出席
	20日	寺子屋マルファン(東京)開催
1月	13日	マルファンジャーナル No.101 発行
	29日	厚生労働省陳情
	30日	VHO-net 合同報告会出席
	31日	マルファンフレンズ交流会(名古屋)開催
2月	1日	会報誌 Fun9 号発行
	11日	新ホームページ公開
	19日	サービスグラント新ホームページボランティアさんに挨拶
	20日	難病のこども親の会連絡会関西支部会出席
	24日	国立循環器病研究センター新理事長と心臓血管内科血管科部長に面談
	29日	Rare Disease Day2015(世界希少・難治性疾患の日:RDD)参加
3月	2日	大阪大学ゲノム編集研究会出席
	12日	患者レジストリJ-RARE 研究班報告会議出席
	26日	今後の難病対策関西勉強会出席
4月	4~7日	第13回国際人類遺伝学会ブース展示
	10日	日本難病・疾病団体協議会(JPA)幹事会出席
	11日	日本難病・疾病団体協議会(JPA)厚生労働省要請
	23日	VHO-net関西学習会会議出席
5月	13日	奈良医科大学Voice of patient講演
	15日	日本難病・疾病団体協議会(JPA)総会委任状出席
	21日	難病のこども親の会連絡会関西支部会出席
	24日	マルファン交流会(東京)開催
	28日	東京大学ワークショップ 患者の立場からゲノム編集を考える出席
	29日	愛知県難病団体連合会2016年度通常総会出席
	29日	日本科学未来館みらいのかぞくプロジェクトあなたはどこまでやりますか?~ヒト受精卵へのゲノム編集を考える~講演

事業
その1

情報等の収集および提供事業

- | | |
|-------------|-----------|
| ① 国内情報 | ④ メールマガジン |
| ② 海外情報 | ⑤ ホームページ等 |
| ③ 医療者／施設の紹介 | ⑥ 会報／情報誌 |

① 国内情報

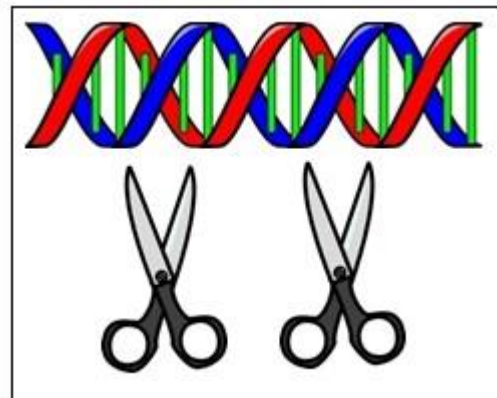
(担当:国内班)

▶ 国立循環器病研究センターの新理事長にご就任された小川久雄先生と、心臓血管内科血管科部長野口輝夫先生に面談をお願い、ご対応いただきました。

結合織病外来(マルファン症候群や類縁疾患の専門外来)を担当され、遺伝学的検査なども行っている森崎隆幸先生、森崎裕子先生が、2016年春に国循をご退職されることとなったため、今後の結合織外来と遺伝学的検査等について、お話を伺い、当会からも要望をお伝えしました。

▶ 大阪大学大学院医学系研究科医の倫理と公共政策学加藤和人先生より、ゲノム編集研究会へのお声がけをいただきました。

2015年より話題となっているゲノム編集技術を人間にどこまで応用してよいか(特に世代を超えた遺伝子改変について)、日本ではまだ、現状と課題や議論すべき論点をまとめたものがなかなかできていない状況とのことで、ゲノム編集に詳しいサイエンティスト・倫理と法哲学の研究者・遺伝性疾患患者家族が集まり、意見交換をしました。



② 海外情報

(担当:海外班)

▶ 国際マルファン組織連盟International Federation of Marfan Syndrome Organizations (IFMSO)、アメリカのマルファン症候群支援団体The Marfan Foundation (NMF)に加入しています。

▶ 会報9号に、西村由希子さん(日本マルファン協会代表代理・厚生労働省科学研究J-RARE班)の2014年NMF家族会総会の参加報告を掲載しました。

▶ Facebookやツイッターで、海外ニュースをシェアしています。



③ メールマガジン

(担当: 広報班)

▶ マルフアン症候群関係者、医療関係者、行政関係者、教育関係者、その他一般市民に、メールマガジン『マルファンジャーナル』100～101号を発行しました。

④ ホームページ・Twitter・Facebook (担当: 広報班、国内班、海外班、外部委託班)

▶ マルフアン症候群に関する情報をタイムリーに届けるために、ホームページやツイッター、フェイスブックを利用して国内情報・海外情報・イベントレポートなどを発信しました。

▶ サービスグラントのプロジェクト助成(ウェブ制作)により、協会のホームページをリニューアルしました。ウェブ制作に関するプロスキルを持った社会人や、プロを目指す大阪デザイナー専門学校の学生さんが、当会のためにプロジェクトチームを作り、ニーズ把握やわかりやすさ、読み上げ対応など、様々なことに相談にのっていただきました。途中、協会担当スタッフの家族の手術や体調不良などで予定変更となったり、プロボノのみなさまにはご迷惑をおかけしたにもかかわらず、細やかにサポートいただきました。また、医療監修では森崎隆幸先生森崎裕子先生にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。



⑤ 会報/情報誌など

(担当: 広報班)

▶ 会報誌 8号 9号(各 500部)発行しました。



▶ 大動脈解離・災害に備えるエマージェンシー(救急災害情報)カードを作成し、会員に配布しました。救急救命士の田島さんや、プロボノチームにご協力いただきました。

ホームページからもダウンロードできるようにしました。



▶ 「遺伝子疾患の子どもを持った親の意識調査・遺伝子疾患の子ども意識調査」を増刷しました。

事業
その2

調査研究およびそれらの支援事業

- ① アンケート
- ② 国や行政への働きかけ
- ③ 患者レジストリ

① アンケート

(担当：国内班)

- ▶ 指定難病と小児慢性特定疾病の申請に関するアンケートを実施し、結果を会報9号に掲載しました。
- ▶ 就労に関するアンケートを行うための準備を行いました。(実施は2016年夏からを予定)
- ▶ 藤田保健衛生大学大学院遺伝カウンセリング分野の森山育実さんより協力依頼をいただき、「マルファン症候群の方が子をもうける際に影響する要因」のインタビュー研究へ協力させていただきました。

② 国や行政への働きかけ

(担当：難病指定班)

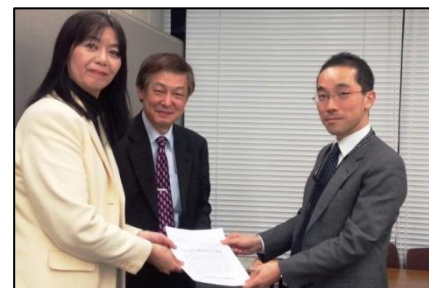
▶ 浅草橋ヒューリックホールにて行われた難病・慢性疾患全国フォーラム2015に賛同団体として参加しました。
参加賛同156団体、当日参加約400名。



▶ 厚生労働省(健康局疾病対策課・大臣官房厚生科学課)へ、マルファン症候群と類縁疾患に関する専門診療体制の整備と、遺伝子検査等の保険収載に関する要望書を持参し、陳情に行きました。

要望書の内容は下記4点

1. マルファン症候群と類縁疾患の専門医の育成と専門診療体制の整備
2. マルファン症候群と類縁疾患の遺伝学的研究の継続実施と推進
3. 遺伝学的検査(遺伝子検査)と遺伝カウンセリングの保険収載の検討
4. 遺伝学的検査による社会的不利益が生じない対策



▶ 一般社団法人日本難病・疾病団体協議会(JPA)の「難病と長期慢性疾患、小児慢性特定疾病の総合的な対策の充実を求める請願」の趣旨に賛同し協力を呼びかけました。
JPAの厚生労働省要請に参加し、マルファン症候群の指定難病認定基準や遺伝学的検査について質問しました。



② 患者レジストリ

(担当:国内班、海外班)

▶平成 26～28 年度 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)横断的政策研究分野『患者団体等が主体的に運用する疾患横断的な患者レジストリのデータの収集・分析による難病患者の QOL 向上及び政策支援のための基礎的知見の収集』研究班に参加し、マルファン症候群及び関連遺伝性疾患の患者レジストリ研究を行いました。

※参加にあたっての主要な交通費宿泊費は研究班より支給いただいています。

- ・班会議
- ・マルファン症候群レジストリ打ち合わせ会議
- ・スカイプ会議
- ・研究班報告会

事業
その3

教育および啓発事業

- ① 寺子屋マルファン
- ② 学会でのブース展示・資料配布
- ③ 講演会開催
- ④ 講師派遣

① 寺子屋マルファン

(担当:国内班)

▶東京にて寺子屋マルファンを開催しました。ロイス・ディーツ症候群のご家族や遺伝カウンセラーの学生さんなどが参加されました。

② 学会でのブース展示・資料配布

(担当:国内班)

▶第 13 回国際人類遺伝学会にてブース展示パンフレットの配布と、今回初めてTシャツを作って頒布しました。



③ 講演会開催

(担当：国内班)

▶ マルフアン症候群と指定難病についての講演会開催

講師：

国立循環器病研究センター結合織外来担当

森崎隆幸先生 森崎裕子先生

社会福祉士 大黒宏司さん

厚生労働省研究班患者レジストリ研究者 江本駿さん



④ 講師派遣

(担当：国内班)

▶ 第2回自立支援員研修会に患者講師として、患者団体6団体が講演する機会をいただき、当会より猪井と福原が、地方自治体の職員(自立支援事業の業務に携わる方)など、約50名にお話ししました。内容：マルファン症候群とは・日本マルファン協会とは・患者家族の体験・病気の子供達のための要望等講演後には、自立支援計画を作成するグループワークにも参加しました。



▶ 奈良県立医科大学 Voice of Patient (VOP) 講座にて、2回生の医学生約120名に猪井が講演を行いました。

内容：マルファン症候群とは(知らないと怖い理由・知っていても悩ましい理由)・日本マルファン協会について・私の体験・患者レジストリ・医師を目指すみなさまへ

講座終了後に、たくさんの感想をいただきました。マルファン症候群の患者の持つ困難さを知った、本人だけの問題ではないところなどを分かって治療を進める必要性を知って患者さんに接する医師になりたい、自分がマルファン症候群を研究し治したい等、心強いコメントもありました。

▶ 日本科学未来館「みらいのかぞくプロジェクト」トークイベントvol.1「あなたはどこまでやりますか?～ヒト受精卵へのゲノム編集を考える～」の前夜祭として、東京大学医科学研究所公共政策研究分野主催による「ワークショップ患者の立場からゲノム編集を考える」に猪井と関が出席し、意見交換しました。

④ Rare Disease Day

(担当：国内班)

▶ Rare Disease Day 2016 に賛同し、愛知や大阪などでイベントに参加しました。



事業
その4

ネットワーク構築及び交流支援事業

- ① 友の会の交流支援
- ② 他団体ネットワーク

① 友の会の交流支援

(担当：交流班)

▶ マルフアンフレンズ SNS にて、掲示板やつぶやき等の書き込みを利用いただきました。ログインできない等、利用できなくてお困りの方は、お気軽に事務局までご連絡ください。

▶ 交流会等を開催しました。

- ◆ マルフアン交流会名古屋開催（会報誌の発送作業をしながら）
- ◆ マルフアン交流会東京開催
- ◆ 大阪にて医療講演会の後に親睦会



② 他団体ネットワーク

(担当：国内班・海外班)

▶ マルフアン症候群や類似疾患の団体、また遺伝子疾患団体や難病団体、各種団体企業等と、交流・連携しながら、マルファン症候群を取り巻く環境改善の活動をすすめられるよう、ネットワーク作りに努めています。

- ◆ 他団体のイベント参加：VHO-net(ヘルスケア関連団体ネットワーキングの会)学習会
今後の難病対策関西勉強会

- ◆ 加盟参加：一般財団法人 日本難病・疾病団体協議会(JPA)

NPO 法人 愛知県難病団体連合会

The Marfan Foundation(NMF)

International Federation of Marfan Syndrome Organizations (IFMSO)

難病の子ども支援全国ネットワーク関西親の会連絡会

▶ 日本エーラスダロス協会(友の会)総会・医療講演会・交流会に賛同団体として参加しました。

▶ 製薬協第29回患者団体セミナーに出席しました。
内容：海外患者会の活動について

▶ 中日新聞社会事業団難病者激励金授与式出席しました。

難病激励金とは、成田山名古屋別院大聖寺と同寺の信徒団体「索(なわ)の会」からの寄託金で、当会は愛知県内の難病関連団体8団体のひとつとして授与くださいました。いただいた激励金は、交流会の開催や啓発事業等、有効に使わせていただきます。



▶ 希少疾病(日本での対象患者数が5万人未満)用医薬品 Orphan Drugの「患者と創薬上流研究者の出会いの場」をテーマにしたワークショップOpen Discussion for Orphan Drug Discovery (ODOD)出席しました。

事務局

お仕事報告

事務局では、メールや電話での問合せに対応したり、会員の入退会の手続き、印刷物発注・発送、ホームページ管理 など行いました。

① 電話やメールでの問合せや相談への対応

お問合せ・相談内容は、「指定難病の申請について」「遺伝学的検査について」「マルファン症候群の患者さんのご遺族より」「病院について」「子どもについて」「専門外来について」「冊子について」「会報誌の情報利用について」などでした。

患者家族、医師や、難病相談支援センターなどからのお問い合わせが増えております。

② 会員の入退会手続き、更新手続き

入会・退会される方への連絡窓口、及び、年度替わりの会員更新手続きや名簿の管理をしています。

※今年度も会費納入をお願いいたします。また、前年度会費が未納の方は、合わせて納付をお願いいたします。住所や氏名が変わった場合は、すみやかにお知らせください。

③ 印刷物等の発注

会報誌や封筒や名刺等の発注を行いました。パンフレットや冊子の増刷、資料の印刷を行いました。また国際学会頒布用に「Stop！大動脈解離」Tシャツを作成しました。

④ 発送業務

会員への連絡やその他問合せや注文の資料などを発送しました。

⑤ 助成金書類の提出

サービスグラント情報発信支援プログラムプロジェクト型助成に関する書類作成提出を行いました。
また、アステラス製薬(株)患者会支援助成第 10 回公募制活動資金は、翌年度に繰り越させていただくことといたしました。

⑥ 会計



管理し、決算を行いました。

⑦ インターネットアンケートの準備と集計

インターネットでの指定難病等に関するアンケートフォームを作成し、集計しました。

⑧ 総会・理事会の開催準備

通常総会の開催の準備、理事会の開催準備をしました。



理事会

会議に関する報告

総会は通常総会を開きました。
理事会は 3 回開催しました。



▶ 通常総会

日時: 2015 年 8 月 22 日(土曜日)13 時 10 分～

場所: (公財)がんの子どもを守る会大阪事務所セミナー室

議案:

第 1 号議案 2014 年度(2014 年 6 月 1 日より 2015 年 5 月 31 日まで)事業報告に関する件

第 2 号議案 2014 年度会計および監査報告に関する件

第 3 号議案 2015 年度(2015 年 6 月 1 日より 2016 年 5 月 31 日まで)事業計画に関する件

第 4 号議案 2015 年度予算計画に関する件

第 5 号議案 事務局移転による定款変更の件

2015年度「特定非営利活動に係る事業会計」活動計算書
2015年6月1日から2016年5月31日まで

特定非営利活動法人日本マルファン協会

単位:円

科目	予算額	決算額	差異	備考
(資金収支の部)				
I 経常収入の部				
1 会費・入会金収入	460,000	220,001	△ 239,999	
1) 入会金収入	5,000	0	△ 5,000	
2) 正会員会費収入	150,000	120,605	△ 29,395	
3) 一般会員会費収入	150,000	99,396	△ 50,604	
4) 賛助会員会費収入	35,000	0	△ 35,000	
5) 会費未収金	120,000	0	△ 120,000	
2 事業収入	119,000	293,351	174,351	
1) 情報等の収集及び提供事業	6,000	12,742	6,742	別紙参照
2) 調査研究及びそれらの支援事業	30,000	40,320	10,320	別紙参照
3) 教育及び啓発事業	30,000	59,569	29,569	別紙参照
4) ネットワーク等構築及び交流支援事業	50,000	180,720	130,720	別紙参照
5) 啓発資料等整備及び配布販売事業	3,000	0	△ 3,000	
3 寄付金収入	100,000	172,864	72,864	
4 助成金収入	175,000	175,000	0	
5 雑収入	5,000	58	△ 4,942	
経常収入合計	859,000	861,274	2,274	
II 経常支出の部				
1 事業費	380,000	603,342	223,342	
1) 情報等の収集及び提供事業	80,000	261,440	181,440	別紙参照
2) 調査研究及びそれらの支援事業	70,000	40,740	△ 29,260	別紙参照
3) 教育及び啓発事業	80,000	92,696	12,696	別紙参照
4) ネットワーク等構築及び交流支援事業	150,000	208,466	58,466	別紙参照
5) 啓発資料等整備及び配布販売事業	0	0		
2 管理費	323,000	173,691	△ 149,309	
1) 役員報酬	0	0		
2) 給料手当	0	0		
3) 荷造運賃発送費	30,000	64,036	34,036	総会、会計資料の送料など
4) 広告宣伝費	10,000	0	△ 10,000	名刺
5) 参加費	5,000	0	△ 5,000	
6) 旅費交通費	100,000	14,740	△ 85,260	総会、スタッフ研修会、理事会など
7) 通信費	35,000	33,960	△ 1,040	電話料金、サーバー・ドメイン代
8) コピー印刷製本費	50,000	58,300	8,300	総会資料、パンフレット印刷代など
9) 備品消耗品費	30,000	495	△ 29,505	パソコン、封筒、ファイルなど
10) 新聞図書費	0	0		
11) 支払手数料	8,000	2,160	△ 5,840	振込手数料など
12) 保険料	5,000	0	△ 5,000	
13) 賃借料	40,000	0	△ 40,000	事務所賃借料など
14) 租税公課	0	0		
15) 雑費	10,000	0	△ 10,000	
3 予備費	595,474	0	△ 595,474	
1) 予備費	595,474	0	△ 595,474	
経常支出合計	1,298,474	777,033	△ 521,441	
経常収支差額	△ 439,474	84,241		

Ⅲその他資金収入の部				
1 固定資産売却収入	0	0		
2 借入金収入	0	0		
その他資金収入合計	0	0		
Ⅳその他資金支出の部				
1 固定資産取得支出	0	0		
2 借入金返済支出	0	0		
その他資金支出合計	0	0		
当期収支差額	△ 439,474	84,241		
前期繰越収支差額	439,474	439,474	0	
次期繰越収支差額	0	523,715	523,715	
(正味財産増減の部)				
Ⅴ正味財産増加の部				
1 資産増加額	0	84,241	84,241	
1) 当期収支差額	0	84,241	84,241	
2 負債減少額	0	0		
正味財産増加額合計	0	84,241	84,241	
Ⅵ正味財産減少の部				
1 資産減少額	0	0		
2 負債増加額	0	0		
正味財産減少額合計	0	0		
当期正味財産増加額	0	84,241	84,241	
前期繰越正味財産額	0	439,474	439,474	
当期正味財産合計	0	523,715	523,715	

2015年度特定非営利活動事業会計財産目録
2016年5月31日現在

特定非営利活動法人 日本マルファン協会
単位:円

科目・摘要		金額	
1 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	52,101		
普通預金	325,583		
郵便貯金	8,608		
郵便振替	71,834		
PayPal口座	169,672		
未収入金	120,000		
仮払金	0		
流動資産合計		747,798	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			747,798
2 負債の部			
1 流動負債			
未払金		6	
立替費用未清算分	224,083		
前受金			
2015年度分会費等	0		
流動負債合計		224,083	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			224,083
正味財産			523,715

2015年度事業別収支報告

(別紙)

		情報等の収集及び提供事業			調査研究及びそれらの支援事業		教育及び啓発事業					ネットワーク構築及び交流支援事業			合計
		ホームページ	会報／情報誌	合計	国や行政への働きかけ	合計	寺子屋マルファン	学会ブース・資料展示	先生を囲む会	講師派遣	合計	友の会の交流	他団体ネットワーク	合計	
収入の部	参加費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300	0	300	300
	旅費交通費支給	0	0	0	40,320	40,320	0	0	0	40,224	40,224	0	179,420	179,420	259,964
	冊子頒布	0	12,742	12,742	0	0	0	2,800	0	0	2,800	1,000	0	1,000	16,542
	講演料	0	0	0	0	0	0	0	0	16,545	16,545	0	0	0	16,545
	収入合計	0	12,742	12,742	40,320	40,320	0	2,800	0	56,769	59,569	1,300	179,420	180,720	293,351
支出の部	荷造運賃発送費	0	103,450	103,450	0	0	0	6,462	0	0	6,462	0	257	257	110,169
	広告宣伝費	0	0	0	0	0	0	1,525	0	0	1,525	0	0	0	1,525
	交際費	5,882	0	5,882	1,830	1,830	0	0	0	0	0	0	3,000	3,000	10,712
	旅費交通費	5,240	4,281	9,521	38,910	38,910	370	21,460	0	25,967	47,797	0	149,973	149,973	246,201
	通信費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	コピー・印刷費	0	131,459	131,459	0	0	0	3,130	0	0	3,130	0	400	400	134,989
	備品消耗品費	0	2,121	2,121	0	0	0	26,110	0	0	26,110	0	0	0	28,231
	諸会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51,750	51,750	51,750
	支払報酬料	7,924	0	7,924	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,924
	支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	6,820	6,820	2,400	0	2,400	9,220
	雑費	1,083	0	1,083	0	0	852	0	0	0	852	0	686	686	2,621
	合計	20,129	241,311	261,440	40,740	40,740	1,222	58,687	0	32,787	92,696	2,400	206,066	208,466	603,342